

とうべつ

議会だより



No. 194

平成30年8月1日発行

CONTENTS

- 今後注目!!～町の未来に多くの質問～・・・ 2
平成34年度開校を目指して
地域医療体制の全面見直しへ など
- 5人の議員が13項目を質問、町の考えを質す・・・ 6
6月定例会一般質問
ただ
- 町民との懇談で多くの意見・・・ 12
第11回議会報告会

【今月の表紙】

小学生が中学校へ一日登校
小中一貫教育の連携進む
(撮影：6月20日)

西当別小学校の6年生が、西当別
中学校へ登校し、中学校の理科の
先生の授業を受けている。



公共施設に関するあり方検討特別委員会(6月13日)、総務文教常任委員会(6月20日)、

平成 34 年度開校を目指して

～一体型義務教育学校基本構想(案)【中間報告】～

公共施設

候補地は当別中学校敷地

平成 34 年度を目標に当別小学校と当別中学校を一体型の校舎に建て替えるための基本構想(案)の中間報告がありました。その中では、建設候補地や今後の進め方などについて、質疑が行われました。



建替え候補地の当別中学校

問

子どもたちが中学校まで歩いていくのは大変。公民館跡地(A)くらいのところであれば近くていいと思う。すこし離れたところに、野球場などがあつたらだめなのかということも含めて検討したのか。

答

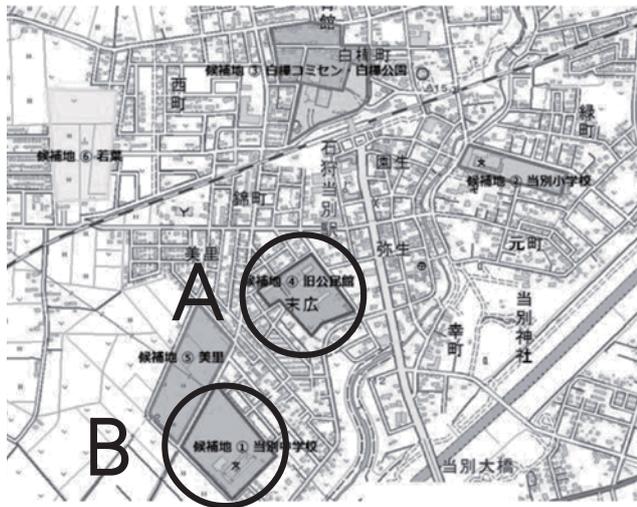
候補地の選定については、まず実現させたい教育理念があり、それを実現させる候補地として、どういった広さが必要か検討した結果、当別中学校(B)の跡地ということになった。

問

なるべく中心に公共施設を配置することで経済性、コストも下がるというコンパクトシティの観点から、今回示された場所は本当に、適当な場所かという視点から見ると、疑問がある。

答

教育委員会として、学校を核とした新たな地域づくりも担う学校にしたい。町は、市街地の中がコンパクトシティの中と捉えている。



公共施設

学年に応じた教室設計は?

問

快適に学べる教育の環境について、教室の配置があるが、教室のサイズは小学1年生と中学1年生では体も違うので、サイズも加味した配置なのか。また、トイレのサイズはどうか。

答

小中学校の教室のサイズについて、JIS規格の机が40席確保できる大きさと考えている。学年によってサイズは変わらない。また、トイレのサイズについても、小中とも変わらない。

公共施設

太美地区の学校は?

問

今回は、当別小学校と中学校を統合したもので、これから地域ごとに説明会を行うと思うが、太美地区はどうなるのかという質問が出てくると思う。考え方は示さないのか。

答

太美地区は、児童生徒数の推移、建物の耐久年数などを総合的に考えながら、義務教育学校への移行を考える。いつ移行するという見通しは未定。早い段階で、具体的にしたいと思っている。

公共施設

学校図書室と図書館

問

学校の図書室について、町の図書館として規模を大きくする考えはあるか。

答

町の図書館については、現段階では考えていない。

産業厚生常任委員会(6月20日)を開催し、町からの提案に対する質疑が行われました。

地域医療体制の全面見直しへ

堀江病院閉院に伴う町の対応の経緯や現状の説明があり、町内唯一の58床の医療療養病床が町からなくなることも伝えられました。また、将来を見据えた地域医療体制の全面見直しに向け、町内の医療・介護関係者等による当別町地域医療あり方検討会議を設置する旨の説明もありました。



6月29日開催の当別町地域医療あり方検討会議の様子

産業厚生

いつまでに?

問

今後の地域医療体制の方向性はいつくらいに出るのか。

答

方向性を出す目処については、秋から冬までに検討会議を数回行ったあと、方向性を決めていく。

産業厚生

町民への周知は?

問

5月下旬に堀江病院の意向を確認したとのことであるが、現状について町民に周知する予定はあるか。また、方向性が出たときに町民への周知は行うのか。

答

検討会議を今後開催するので、その情報について、逐次、町民の方に周知していきたいと考えている。また、今後の方向性についても決まり次第、周知したいと考えている。

総合戦略に掲げた目標は検証できるのか?

※1

産業厚生

合計特殊出生率 ※2

当別町の合計特殊出生率は、5年毎の国勢調査の数値を基に国で算出したものを採用しています。そのため、総合戦略で掲げている平成31年の目標数値1.28をどのように検証するのか質疑がありました。



合計特殊出生率の目標数値の検証方法は?

問

平成29年の出生率の資料を要求していたが、提出された資料には、平成24年までしか記載されていない。平成29年の出生率は算出していないのか。

答

小規模な市町村は、出生数などの多少の増減により数値に与える影響が大きいため、5年毎の国勢調査を基に国で算出している数値を採用しているため、平成24年までしかない。

問

総合戦略で平成31年の合計特殊出生率を1.28と設定しているが、5年毎の国勢調査を基にした数値では、すぐに検証することができないと考える。どのように検証するのか。

答

当別町独自で算出することは、なかなか難しいとは思いますが、暫定値として算出し、総合戦略の目標数値の検証をしていきたいと考えている。

※1 総合戦略…人口減少克服・地方創生を実現するため平成27年10月に策定した「当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」のこと。

※2 合計特殊出生率…15～49歳の女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

道の駅

本会議 スウェーデン館の情報発信

スウェーデンハウス株式会社から、道の駅の敷地内に（仮称）スウェーデン館を建設し、町に寄贈する旨の申し出があり、これに併せて、建物の外構工事を行うことが提案されました。



（仮称）スウェーデン館立面図（案）

問 スウェーデン館ではスウェーデンに関する情報を発信するとのことであった。道の駅本体の情報発信と重複や抜け落ちがないよう整理する必要があると思うが、そのような考えはあるか。

答 （株）tobe と協議しており、基本的には、道の駅本体は道路情報や地域観光など、スウェーデン館は町の北欧イメージ定着に向けた情報発信と整理している。重複や抜け落ちがないよう検討を進めたい。

本会議 防災備蓄倉庫の設置場所

道の駅の防災機能充実に向け、北海道開発局に対し、平成 31 年度の設置に向けた要望及び必要な規模、配置等の協議・検討作業を行う旨の説明がありました。

問 道の駅の裏側にある芝生の交流広場からの景観や防災備蓄倉庫の外観も道の駅のイメージ等を損なうことがないように配慮する必要があると思うが、そのような考えはあるか。

答 交流広場からの景観については、道の駅の強みである農村風景を維持できるように配慮する。また、備蓄倉庫の外観については、開発局に最大限配慮してもらうよう申し入れをしたと考えている。

総務文教 道の駅の客単価

問 道の駅の一人当たりの客単価が約 500 円であるが、頭打ちの状態か。改善するための対策は。

答 （株）tobe より約 800 円と聞いているが、まずは施設を見に行こうという方が多いと思われる。（株）tobe にて、客単価向上に向け商品数を増やすことなどを考えている。

企業誘致をすすめるために

～企業立地促進条例の改正～

産業厚生 新設・増設投資金額

現行制度では、町外企業の新設・町内既存企業の増設が共に 2,000 万円以上の投資が必要でしたが、町内既存企業の増設が 1,000 万円以上と要件が緩和され、対象業種や補助内容についても拡大される条例改正案が提案されました。要件や業種についての質疑がありました。

問 1,500 万円で起業する場合、一度町内で起業し、その後、1,500 万円で増設した場合は、対象になるのか。その場合、新設と増設で金額を分ける意義がなくはないか。

答 客観的に見れば適用となると考える。分ける理由については、新規・増設の差別化を図り既存企業もより活用しやすい制度としているところであるので、ご理解いただきたい。



太美地区はCCRC構想により高齢者住宅や子育て住宅の建設が今後期待される

産業厚生 制度対象業種の拡大

問 CCRC構想（※1）で誘致をしたい業種、例えば、サービス付き高齢者向け住宅などは、この制度の対象になるのか。また、対象にならないとしたら、その理由は何か。

答 今回、41 業種から 48 業種に増やしたが、介護や福祉施設などは対象とはしていない。まずは、食糧関連企業や物流企業を中心に誘致を推進しているので、ご理解いただきたい。

※ 1 CCRC…Continuing Care Retirement Community の略で、高齢者が移り住み、健康時から介護・医療が必要となる時期まで継続的なケアや生活支援サービス等を受けながら生涯学習や社会活動等に参加するような共同体のこと。

その他の質問

産業
厚生

町道の舗装修繕

町道の修繕料 1,100 万円と維持工事 500 万円を増額する補正予算が提案され、道路の穴の補修や舗装について質疑が行われました。

問

説明があったように、道路の傷みがひどく、危険だと思われる穴もある。提案した金額で済むのか。

答

修繕料は、穴などの危険な箇所の応急処置のため計上した。また、昨年調査をし、特に幹線でひどい状態のところは、オーバーレイ（舗装のやり直し）等の改修計画を10ヵ年で策定したので、その計画を基に進めている。

産業
厚生

当別川かわまちづくり計画

市街地に隣接する区間を中心に、当別川とパンケチュウベシナイ川を管理する北海道により、親水護岸や河川沿いの管理用道路の整備が行われます。

問

かわまちづくり計画を作るにあたって、関係者の意見を聴取したとの報告があったが、その詳細は。

答

29年6月に北海道札幌建設管理部から打診があり、その間、関係する6つの町内会や商工会、建設協会などの関係者にお集まりいただき、意見交換を3回行い、計画の申請をして登録された。

総務
文教

ふるさと納税サイト

問

システム改修の19万5,000円は最初にかかる導入費ということか。

答

ふるさと納税サイトさとふるに対してのシステム構築は、1回だけの支出であ

る。ふるさと納税のユーザーはどこに納税するかを探す前に、どのサイトであるかを検討すると聞いている。新たにさとふるのユーザーの中から当別町の寄付者を募りたいと考えている。

産業
厚生

歯科健診の無料化は？

問

近隣の市町村で高齢者等の歯の定期健診を無料で実施しているところがあると聞かすが、当別町で無料の歯科健診を実施する予定はあるのか。

答

歯の定期健診を実施するにあたり、健診内容や助成額については、効果的な方法を検討していきたい。

常任委員会のインターネット配信に向けて！

6月議会より、定例会中の常任委員会をインターネット配信設備のある議場で開催しています。今後、町の提案説明や審議内容など常任委員会の様子をインターネット配信するか検討します。

【その他の質問項目】

札沼線沿線4町合同視察（総務）、水田の沢線の林道整備（産業）、一体型義務教育学校基本構想校舎の耐用年数・人口規模（公共）など

一般質問ページをリニューアルしました。

モニターアンケートを基に改善中。

議会広報特別委員会では、議会だよりモニターの皆様のご意見を基に改善をすすめています。今回は、多くのご意見を頂いている一般質問をリニューアルしました。

これまで、議員の質問を800文字以内で掲載しほぼ同じ文字数の町長・教育長答弁を掲載していました。今回からは、前号でリニューアルした代表質問と同様に、文字数を概ね半分にした上で、質問の意図を「質問のねらい」として掲載しました。



改善

「質問のねらい」で質問の意図を説明

改善

文字数を減らし、見出しで分かりやすく

一般質問

山崎 公司 議員



質問の
ねらい

20年続く人口減少を止めるために

国の2040年の将来推計人口1万7人に対し町の目標人口2万643人と大幅に異なっているのは、どのような要因か。

総合戦略の進捗状況と人口減少の推移から太美地区の環境整備と未使用町有地のインフラ整備と宅地開発の必要

性を質問しました。また、出生数がピークの5分の1で、出生奨励費及び子育て世代の助成改善を質問し、人口減少を止める姿勢を引き出す事をねらいました。道徳教育の教科化に伴う今後の指導と取組みについて質問しました。

ここを
聞きたい

人口減少対策の視点を変える

問 社人研(※1)が発表した将来推計人口の感想と町の今後の対応は?また、当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンと大幅に違っているのは、どのような要因か?

答 この推計は現在の人口減少と高齢化率の推進を単純に計算したものと認識している。総合戦略と算出方法が異なるため、町としては、引き続きしっかりと総合戦略を中心とした各施策を推進していく。

問 2040年の推計人口、『地方消滅』の増田レポート(平成25年3月基準)では1万287人、社人研の推計では1万7人。数年で280人も見通しに差がある。それでも目標人口を訂正・修正はしないか?

答 数字の計算根拠は、過去の人口推移から推計したものであり、何もしない前提での数字である。しっかりと計画を推進していく。



太美出張所がある太美郵便局

ここを
聞きたい

太美地区の環境整備

問 過去の人口推移やCCRC構想など今後太美地区の人口増加が期待できる。ワンストップサービスの役場機能の復活や銀行ATMの設置、期日前投票所の設置など環境整備も必要と思うが、その考えはあるか?

答 太美郵便局内の太美出張所においてワンストップサービスの役割機能は有している。全国的に減少傾向にあるATMの設置を促すことは難しいと考える。期日前投票所の設置は先例事例を参考に検討している。

ここを
聞きたい

子育て世代へ出生奨励策

問 第3子が生まれる社会にしなければ人口減少に歯止めがかけられない。第3子以降の奨励策などに支援の考えはあるか?

答 出生奨励策を手厚くするのは1つの手法ではあるが現状の財政ではこれを武器に子育て世代を増やす財力がない。少なくとも近隣市町村に劣後することなく部分的にでも有利な奨励策の推進に努力していく。

ここを
聞きたい

道徳教育の教科化

問 道徳教育がいかに重要か保護者へ伝えていく必要がある。教員の意識改革も含めどのように取り組んでいるのか?

答 教員は道徳の研究や研修、一貫教育の取組みで意識改革を、保護者へは学級、学校便り等を通して連携、協力を図ってきた。

【その他の質問項目】

太美地区の未使用町有地のインフラ整備と宅地開発、道徳の教科書採用基準 など

※ 1 社人研…国立社会保障・人口問題研究所の略。平成27年国勢調査の確定数値を基に将来人口の推計を行い、平成29年4月に公表した。

一般質問

澁谷 俊和 議員



質問の
ねらい

安心して住み続けられる町住を

町営住宅の現状は、耐用年数を大幅に超え、公営住宅法の目的にある人間らしく生きる権利を保障するために『住宅に困っている低所得者に対して、安い家賃で賃貸し、よって国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する』に反

しています。その原因を明らかにして、一刻も早く根本的改善を町に迫り町住を必要としている町民と何よりも入居している人達に夢と希望の持てる町営住宅政策の実現を迫っていくために質問しました。

ここを
聞きたい

公営住宅法の趣旨の徹底

※1

問

法の目的は、人間らしく生きるために、国と地方自治体が協力し住宅を提供するとなっている。畳の表替え等の管理について安いかと問題にしない。改めて目的、趣旨を点検すべきではないか？

答

健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、安い家賃で賃貸するという公営住宅法の目的と趣旨に沿って、我が町の町営住宅を進めているつもりである。

ここを
聞きたい

町営住宅のネズミの駆除

問

ある団地ではネズミが出て、それを聞いた友人が手伝ってなんとか駆除した。担当部局でもっと注意して、人間らしい生活が送れるよう目配りすべきではないか？

答

原則は、入居者の管理でお願いしている。ただ、大量発生したり、手に負えないケースが出てくれば、担当部局がご協力させていただくことになる。

ここを
聞きたい

入居のしおりをわかり易く

問

経年劣化した畳の表替え費用について「入居のしおり」でわかり易く表現し直すと聞いているが、いつから直すのか？

答

説明がわかりづらいと判断しており、町民の皆さんにもわかり易く説明できるようにしおりの文言など早急に改定させる。



今年度から改修に着手する東町団地

ここを
聞きたい

計画と現実の町住は

問

長寿命化計画と現実の町営住宅の実態について、どのように考えているか？

答

計画には住宅の改善・長持ちと老朽住宅の建替えがあるが、これまでは老朽住宅からの移転を行い、今年度からは東町団地の改修に着手し、住み心地の改善に力を入れて進めている。

ここを
聞きたい

道の駅337号の事故

問

交通事故が後を絶たない。町長は、路面凍結や吹雪など気象条件によるものと認識しているが、厳しい認識が必要ではないか？

答

警察の話では、以前からこの時期では同程度の事故が発生しており、道の駅開業によって増えていることはないとのことである。

【その他の質問項目】

町営住宅の現状と問題点、町営住宅管理戸数、町営住宅の耐用年数

※ 1 公営住宅法第1条…この法律は、国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は、転貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

一般質問

佐藤 立 議員



質問の
ねらい

子どもたちにとって最高の学び舎を

当別小学校と当別中学校を統合して新築予定の一体型義務教育学校の基本構想案が示されました。子どもたちが9年学ぶことになる**学校建築は、当別町の未来を左右する**とても重要な事業です。子どもたちにとって最高の学び舎をつくる**ことが私たち大人の責任**です。これからやらなければいけないこと、考えなければいけないことを明らかにするために質問しました。

ここを
聞きたい

学年に応じた教室の設計は？

問

教室について、**低学年**は校庭と直接つながる入り口や、手洗い場、たまり場のようなスペースを確保し、**中高学年**は勉強に集中する形に変えるなど、**学年ブロックごとに異なる設計**となるのか？

答

低学年にそういった施設をつくるとか、出入り口をグラウンドに面したところに向ける等は考えている。**基本設計なり実施設計に行く段階で**専門家、学校現場の意見も聞き反映させていく。

ここを
聞きたい

学ぶ意欲を醸成する仕掛け

問

算数、社会など各教科にふさわしい部屋をつくり、子どもがそこを回って授業を受ける**教科センター方式は、学ぶ意欲を醸成**するいい方法。基本構想策定の際、**選択肢として検討されたのか？**

答

これまで通り普通教室と特別教室での授業が基本で、**教科センター方式、特別教室制**ということ述べていない。**教科センター方式は必要性が感じられなかった**ので全く検討していない。



どの教室にも話し合い用の丸テーブルがある
(姉妹都市レクサンド市の小学校・本人提供)

ここを
聞きたい

特別支援教育

問

町が先導的な役割を果たしている**共生社会の実現**のためにも、**インクルーシブ教育**(※1)が重要と考えられている。特別支援教室について、**インクルーシブ教育の視点は盛り込まれているか？**

答

障がいの有無による分け隔てがないことなど4点の配慮と特別教育を考えたときの**通級制度の充実や施設の整備**など4点について、**道立特別支援教育センター**などの**専門機関の助言**を受け基本・実施設計を進めたい。

ここを
聞きたい

総合戦略の進捗管理

問

2019年までに転入・転出ともに800人として人口減少を食い止めるという**目標達成は困難な推移**である。より細かな**到達目標を設定し、一歩ずつ達成**していくというアプローチが必要ではないか？

答

目標はあくまでも**2040年の2万人超え**であり、**ここ数年のうちにできない点**は多少あるが、**目標年に向け現在の取り組みを加速**することが重要と考えている。

問

人口減少の影響で、**当別小学校の1年生が1クラス**となった。文科省及び北海道の基準の**2クラス維持**に必要な人数を**目標設定し、各小学校区ごとに子育て世代の転入促進**に取り組む予定はあるか？

答

年齢指定や町内居住地区まで指定する転入促進策は、考えにくい手法と思料する。移住促進や子育て世帯への支援などの施策を複合的に進めていくことが重要と考えている。

※1 インクルーシブ教育…障害の有無にかかわらず、同じ場所で共に学ぶことができる教育。

一般質問

鈴木 岩夫 議員



質問の
ねらい

町民一丸となって乗り越えよう!

人口減少・少子化問題は、行政・議会・一丸となって乗り越えなくてはならない課題です。町は、総合戦略を作成し頑張っているけれど、堀江病院閉院問題、JR札沼線廃止・縮小問題、

TPP11問題と次々と難題がつけつけられます。どうすれば乗り越えられるのか、しっかり情報発信し、町民の声に耳を傾け、国や道JRにも言うべきことはきちんと言うことを求めました。

ここを
聞きたい

札沼線廃止・縮小

問

6月19日、本町の対応についての新聞報道があった。新聞報道の通りなのか、現時点でのJR札沼線廃止・縮小問題に対する本町の対応について伺う。

答

今後沿線4町としての路線存続の是非を確認し、結果によって、町もJRとの協議を進めていくことになる。町としては金沢、中小屋地区住民の利便性の高い交通体系を確保するため最大限の努力をしていく。

ここを
聞きたい

TPP11の国会承認

問

財源を含めた国内農業対策と新規加入条件が明らかになる前にTPP11の国会承認はしないことを国に求めるべきと考えるがいかがか?

答

町としては今後この国の動きを注視していきたいと考えている。財源確保については今のところ明確にはなっていないので、関係機関と連携して国に対して求めていきたいと思っている。

ここを
聞きたい

23線排水の改修

問

老朽化が進み側面の鉄板がそこから腐食し土砂が入り込み底面が上がってきている、H鋼の腐食も進んでいて崩れる場所も出てきている。改修すべきと考えるが、改修計画について伺う。

答

昨年に引き続き、今年も一部修繕工事を行う予定にしている。全町的な改修計画を策定した上で、その計画の中で23線の排水も応急処置ではなく、本格的な改修を進めていくことになる。



JR札沼線廃止・縮小問題に対する本町の対応は?

ここを
聞きたい

子どもの貧困対策

問

就学援助の縮小は子どもの教育格差、貧困の連鎖につながりかねない問題だ。就学援助の支給対象や支給内容を維持・拡充すべきと考えるが、クラブ活動費まで拡充する考えはあるか。

答

平成28年度から予算要求を続けているので、引き続き予算確保に努めていきたいと思う。

ここを
聞きたい

一体型小中一貫校

問

ゆきとどいた教育を実現するためにも、早期に実施してもらいたいと思うが、1学級35人の当別基準を全町で実施する考えは?

答

平成34年度から実施する予定の当別基準は当別地区だけではなく、西当別地区にも実施したいと考えている。

【その他の質問項目】

道の駅を核とした地域間連携、道の駅来訪客の町内周遊、排雪に係る町民負担の廃止、堀江病院の閉院

一般質問

五十嵐 信子 議員



質問のねらい 町民の利便性と安全安心の町作り

ふれあいバスは、今ではなくてはならない町民の足となり交通弱者の外出支援の充実や、利便性を求める声が寄せられています。高齢者の移動のみならず、町民の利便性を向上することで外出機会や交流を増やし、生きがい

や健康づくりにもつながり交通以外の分野でもプラスとなりうると考え質問しました。また危険な歩道の整備と合わせて安全で安心して通行できるよう道路照明灯の増設について質問しました。

ここを聞きたい ふれあいバスを使いやすく

問 ふれあいバスは、西当別方面からゆとろ前、本町方面から西当別コミュニティセンター前で下車できず、夏の暑い日や冬は外出を控えてしまう傾向がある。路線の見直しを検討してはどうか。

答 太美地区からゆとろ間は、コミュニティバスという性格からいっても路線ルートがあってもいい。ふれあいバスの運行事業者である当別町地域公共交通活性化協議会と前向きな議論を行いたい。

問 9月には道の駅線の実証実験が終了する。次はどうか町民もとても気にされている。運転免許の返納が促進される中で関心が高い。今後利用促進について何か町でお考えはあるか。

答 実証実験終了に加え、JR問題に一定の方向が出ると全面的な見直しが必要になる可能性もある。利用促進も、タクシーとの連携も視野にコスト低減を図り利用が増える対策を考えたい。

ここを聞きたい デマンドバスの運行拡充

問 平成27年10月から予約型デマンドバスが本町方面で始まった。今後、西当別方面での実施や当別町内の運行区域の拡大で公共施設や道の駅などへも行くよう検討してはどうか。

答 西当別地区のデマンド交通の導入あるいは運行区域の拡大は、運転手不足など運行事業者の課題があるが、鋭意研究を深めていきたい。



歩道の傷みが進んでいる町道中央十九線(南2号)

ここを聞きたい 町道中央十九線の歩道補修

問 町道中央十九線は、踏切から遊遊公園駐車場付近までの歩道がでこぼこで、大きな水たまりができる。車道へおりても白線は薄れ、自転車や歩行者にとって危険。早急に補修すべきではないか。

答 太美地区は軟弱地盤で道路が傷みやすい。事故の危険度がより高い車道の補修を優先している。当面は応急処置として歩道の穴埋め、雑草除去、道路に白線を引いて安全を確保する補修は行う。

ここを聞きたい 歩道の照明を増設

問 町道中央十九線の歩道側は、照明が少なく足元が見えづらい。くぼみにはまり転倒したり、不審者につけられ怖い思いをした子どももいる。道路整備とあわせて、照明灯の増設のお考えはあるか。

答 道路照明灯は市街地を除いて道路の交差点等に設置することになっていて、増設は難しい。町内会で設置管理する防犯灯の増設を検討いただくことが早道になる。町も補助制度を持っている。

平成 30 年第 2 回当別町議会定例会

(日程 6 月 19 日～6 月 25 日) 傍聴人数 35 名

【専決処分】

■平成 29 年度当別町一般会計補正予算 (第 6 号)

補正額 7,761 万円 (増)

平成 29 年度総額 98 億 1,354 万円

《主な補正内容》

○減債基金積立金 7,761 万円

▶全会一致により承認

■当別町税条例等の一部を改正する条例

▶全会一致により承認

■当別町都市計画税条例の一部を改正する条例

▶全会一致により承認

■当別町都市計画審議会条例の一部を改正する条例

▶全会一致により承認

■当別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

▶全会一致により承認

【平成 30 年度補正予算】

■一般会計補正予算 (第 1 号) ※4 頁に質疑掲載

補正額 7,636 万円 (増)

平成 30 年度総額 93 億 2,541 万円

《主な補正内容》

○森林作業道水田の沢線開設工事 5,000 万円 (増)

【請願・陳情】

件名	提出者	付託先 付託時期	結果
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	札幌地区労働組合総連合 議長 赤坂 正信	産業厚生常任委員会 平成 30 年第 2 回 (6 月)	継続審査
財源を含めた国内農業対策と新規加入条件が不明のままの TPP 11 の国会承認はしないことを求める陳情書	当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他 4 団体	産業厚生常任委員会 平成 30 年第 2 回 (6 月)	継続審査
当別町の医療体制維持・拡充を求める意見書の採択を求める陳情書	当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他 4 団体	産業厚生常任委員会 平成 30 年第 1 回 (3 月)	全会一致 趣旨採択
当別町の医療体制維持を求める請願書	当別町の医療体制維持・拡充を 求める住民の会 共同代表 小寺 和昭 他 2 名	産業厚生常任委員会 平成 30 年第 1 回 (3 月)	全会一致 趣旨採択
地方創成 都市再開発事業による「コンパクトシティ まちづくり」	荒田 譲	公共施設特別委員会 平成 29 年第 5 回 (12 月)	継続審査

○中央十九線防雪柵設置工事 2,500 万円

○道路照明施設更新工事 1,000 万円

○防災・交流施設等整備実施設計業務委託

※ (仮称) スウェーデン館関係含む 308 万円

▶全会一致により可決

【条例】

■当別町企業立地促進条例の一部を改正する条例

▶全会一致により可決

■当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

▶全会一致により可決

【人事案件】

■監査委員の選任 (米口 稔 氏) について

▶全会一致により同意

【契約】

■除雪ドーザ購入契約について

▶全会一致により可決

【その他】

■平成 29 年度当別町一般会計繰越明許費繰越計算書について

▶全会一致により承認

稲村議員 在職 15 年の表彰

～北海道町村議会議長会表彰～

稲村議員が、15 年にわたり議会制度の高揚と地域の振興及び住民福祉の向上に尽くされ、地方自治の発展に寄与された功績が認められ、北海道町村議会議長会から表彰されました。



後藤議長 (右) から伝達を受ける稲村議員 (左)

町民との懇談で多くの意見

議会改革の一環として、より開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しました。

今回は、「町内会役員及び一般町民」を対象とし、議会報告の後、「当別町のまちづくりに関するフリートーク」と題し懇談を行い、参加者の方から多くの意見や要望などをいただきました。

ゆとろ会場

開催日時：4月23日(月) 午後7時～

参加人数：24名

出席議員：島田副議長、稲村議運委員長、
高谷議員、岡野議員、
古谷議員、秋場議員



ゆとろ会場の様子

西当別コミュニティセンター会場

開催日時：4月24日(火) 午後7時～

参加人数：27名

出席議員：山崎議運副委員長、石川議員、
山田議員、澁谷議員、鈴木議員、
五十嵐議員、佐藤議員



西当別コミュニティセンター会場の様子

町から回答をいただきました

【行政区と町内会】

問 町内会は43あるが、町内会と呼ぶ自治会と呼んでいるものが3つある。各町内会に行政推進員を委託されている。なぜ、全て町内会としないのか。また、西当別には、連絡協議会があるが、全体の連合町内会がない。各行政推進員の報酬から少し出して、3自治会を救えないか。

回答 町としては、43全ての地域を町内会として認識しており、行政の線引きで町内会として認めていないという事実はない。

また、西当別連絡協議会については、あくまでも13町内会の合意により設立された任意の協議会であり、今後、町が主導して町内会連絡協議会を設立する予定はない。

なお、行政推進員については、40行政区に各町内会からの推薦に

より町長が委嘱しており、報酬は行政推進員の業務についてのものであるため、町内会の運営に対する報酬ではない。

また、町の広報配布については、行政推進員の役割であり、各行政区毎に配布をしており、町内会が複数ある行政区については、行政推進員と町内会長が連携して配布していただくようお願いしている。

【町内会館】

問 町内会館の修繕について、1万円以上の支出は、本来は行政負担である。故障や修繕をしたときに、1万円以上であれば、行政が支払ってくれることになっているはず。

回答 町内会館の建物、設備の維持管理において1万円以上の支出になる修繕は、行政でおこなっており、修繕要望を町内会館の指定管理者より受け、毎年度、修繕箇所を担

当が現地確認を行ったうえで、予算の範囲内で優先順位をつけて実施し、修繕実施予定一覧表を指定管理者に連絡している。

【都市基盤】

問 都市計画税の定義がわからない。18線に面した住宅に下水道・道路の舗装、歩道がない。町民が訴えているのに、行政は道や国に交渉すべきではないか。

回答 都市計画税とは、都市計画事業（道路、下水道、公園などの都市計画施設の整備）に要する費用の一部に充てるため、用途地域内に所在する土地・家屋を所有している方に納めていただく目的税である。

ご質問の地域は都市計画法第8条の用途地域外に位置しており、都市計画事業が行われていないため、都市計画税は財源として使用できない。

第11回当別町議会報告会

町・教育委員会に要望しました

【町に対して】

○住民懇談会を開いてほしい。

【人口減少対策】

○企業誘致をがんばっているが成果がない。視点を変えて、太美地区に住宅を建て、老後、家庭菜園を楽しめる広い土地を売り出す計画にはどうか。

○町は、社会減について原因を掴んでほしい。

【まちづくり】

○太美地区を核にスイーツ関係の工場を集中的に誘致してはどうか。

【総合戦略】

○人口2万人の話は、希望的観測で言っているようにしか聞こえない。もう少し現状を見て具体的に積み上げることが必要でないか。

【道の駅】

○食べ物にラーメン・カレーライスがない。野菜・農産物にしても高い。
○中庭は広いので、子供たちが遊べる何かがあったら、もっと家族連れが気楽に来られるのではないか。
○賑やかになり、売上が増えることは大変良い。運営状況を適宜公表

する事が必要である。

【町のPR】

○当別町の良さを徹底的にPRし、全道・全国に発信していく事が必要。キーワードは、農業を中心とした自然、長く先輩方が築いてきた教育に対するたゆみない取り組みがあるのではないか。

【観光】

○都市近郊型キャンプ場を造ってはどうか。利用価値の高いエリアには、人が集まると思う。

【公共交通（バス）】

○道の駅に行くふれあいバスには、ほとんど人が乗っていない。今後、どのように活用するのか。
○バスの実証実験だが、70歳以上の人に無料バス券を配ってみてはどうか。

【空き家の利活用】

○人口減少の歯止めとして、医療大生の移動が大きなウエイトを占めている。空き家の利活用の方法があるのではないか。

【地域包括ケアシステム】

○国の方針を精査し、当別の実情

に沿ったものに。

【CCRC】

○住居を増やさないと人口は増えない。CCRCがキーワードでマンション事業やサ高住の建設をやってはどうか。

【農業振興】

○農業10年ビジョンは、議会と行政が一体となりしっかり進めてほしい。

【都市基盤】

○太美は、路盤整備がしっかりできていない所が多い。排水や道路の整備をしっかりやって欲しい。

【町道】

○17線のバス停には、雪解けのときは大きな水たまりができる。このような状態で利用しなさいというのは無理がある。

【小中一貫教育】

○何を目標しているか、説明が不十分ではないか。
○小中高大と一貫して当別町で暮らせる、そういう教育内容を考えてはどうか。

【町史編さん】

○150年に向けて、町史編さんに役場はどのような動きをしているのか。

議会への要望

【議員定数、報酬】

○現在の議員定数でがんばってほしい。

【堀江病院閉院】

○議員提案と継続審議の請願案件の議会対応の違いについて。

【議会報告会】

○議会報告会はマイクを使わないといけないが、議員さんとの距離が遠い。ひざ詰めで話ができるなどマイクを使

わなくても話ができるように希望する。
○今回の資料は前回の資料と雲泥の差がある。これを出席者だけに配るのではなく、全町民に知ってもらうことで、議会と町民の距離を縮めることになるので、町内の回覧で活用してはどうか。

【議会に対して】

○当別の農業は歴史があり、食糧は

必要である。今後ともTPPについては、TPP11さらにアメリカとのFTAについても注視していただきたい。

【特別委員会】

○公共施設に関するあり方検討特別委員会は、何を目標に立ち上げ、どこを目指しているのか。

議会運営委員会道内所管事務調査（7月11日～12日）

安平町議会：議会改革について



安平町議会での研修の様子

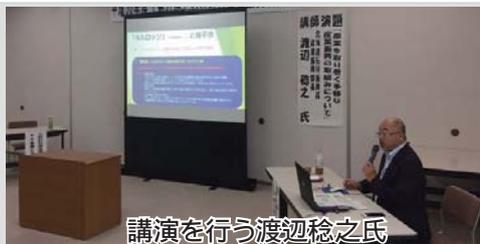
知内町議会：議会活性化について



知内町議会での研修の様子

石狩町村議会議長会議員研修会 (6月27日)

石狩町村議会議長会主催の当別町議会と新篠津村議会合同の議員研修会が新篠津村で開催され、石狩振興局産業振興部長渡辺稔之氏による「農業を取り巻く多様な産業振興の取り組みについて」と題した講演が行われました。



講演を行う渡辺稔之氏

北海道町村議会議長会議員研修会 (7月3日)

北海道町村議会議長会主催の議員研修会が札幌コンベンションセンターで開催され、歴史家・作家の加来幸三氏が「明治維新から150年、現在そして未来を考える」、日本大学法学部教授の岩井奉信氏が「現代日本政治と政局のゆくえ」と題した講演が行われました。



講演を行う加来幸三氏

議会のうごき (平成30年5月～平成30年7月)

5月9日	富山県黒部市議会行政視察来庁	6月27日	石狩町村議会議長会研修会
5月16日	音更町議会行政視察来庁	6月28日	蘭越町議会行政視察来庁
5月22日	香川県さぬき市議会行政視察来庁	7月3日	議会広報特別委員会
5月25日	議会運営委員会		北海道町村議会議長会研修会
6月5日	会派代表者会議	7月4日	訓子府町議会研修視察来庁
6月8日	議会広報特別委員会	7月6日	産業厚生常任委員会
6月12日	議会運営委員会	7月11・12日	議会運営委員会道内所管事務調査
6月13日	公共施設に関するあり方検討特別委員会	7月13日	議会広報特別委員会
6月14日	産業厚生常任委員会	7月17日	議員協議会
6月19日	議会運営委員会 議員協議会 第2回定例会	7月19日	総務文教常任委員会
6月20日	総務文教常任委員会	7月23日	議会広報特別委員会
	産業厚生常任委員会	7月24日	長野県千曲市議会行政視察来庁
6月21日	第2回定例会	7月26日	長野県駒ヶ根市議会行政視察来庁
6月22日	第2回定例会		産業厚生常任委員会
6月25日	議会運営委員会 議員協議会 第2回定例会 議員協議会 議会広報特別委員会	7月30日	公共施設に関するあり方検討特別委員会
		7月31日	埼玉県本庄市議会行政視察来庁

9月定例会のご案内

- 平成30年9月19日から予定しています。
 - 平成29年度決算審査、一般質問、補正予算の審議などが行われる予定です。
 - 本会議や各委員会も傍聴できますので、ぜひ、お越し下さい。
- ※日程は決まり次第、ホームページへ掲載します。

編集後記

昨夏より試行錯誤を重ね、今回は一般質問のページを大幅に変更し、全面リニューアルが見えてきました。

一般質問ページでは、広報委員会で質問項目の選定を行い、各委員が質問と答弁を指定の字数に絞込む作業も行い、大変苦労しました。

モニターさんからの貴重な意見や感想、直接の声などを活かし、今後も改良を重ね身近な広報作成に務めてまいります。

議会広報特別委員会 委員 秋場 信一

当別町議会インターネット中継

- 本会議のライブ中継と録画中継をインターネットにより配信しています。

※詳しくは、ホームページをご覧ください。



◇ご意見ご感想をお寄せください◇

【議会事務局】

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9
TEL: 0133-23-3247 FAX: 0133-23-4474
E-mail: gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長 古谷 陽一
副委員長 佐藤 立
委員 秋場 信一
委員 鈴木 岩夫
委員 五十嵐 信子